

社会科（地理的分野）学習指導案

授業のみどころ

生徒が居住する地区の人口推移について自ら予想を立て、それを検証していきます。それらの活動を通して、身近な地域でも過疎・過密と同様の現象が起きていることや、少子高齢社会をむかえていることを実感させていきます。そして、様々な角度から鹿本町を見つめ直すことで、ふるさとのよいところを再発見していきます。

日 時	平成18年11月16日	2校時
場 所	山鹿市立菊鹿中学校	
年 組	山鹿市立鹿本中学校	2年1組
	男子13人	女子15人 計28人
指導者	山鹿市立鹿本中学校	教諭 郡 一路

1 単元名 「世界と日本の人口」(東京書籍p148～155)

2 単元について

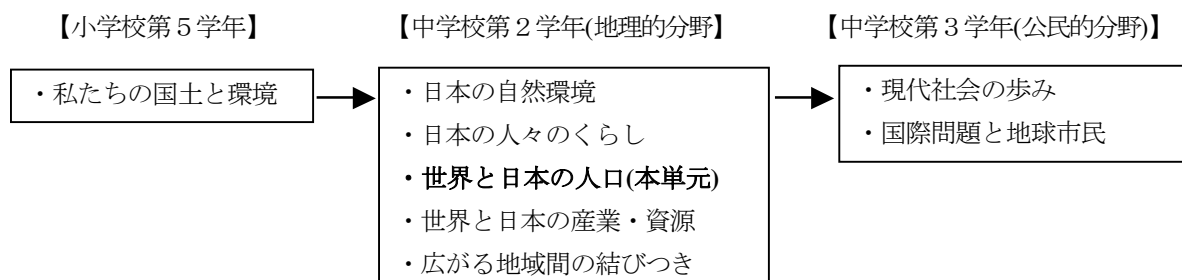
(1) 単元観

世界の人口は、アジア・アフリカなどの発展途上国を中心として、増加の一途をたどり、ついに65億人を超えた。そのため、人類は人口増加による様々な課題に直面し、対応を迫られている。一方、日本の人口は1億2,700万人程度で横ばいの状態にある。女性が一生に産む子どもの数を表す特殊出生率も、1.29人と低く、高齢者の割合も増え、日本は世界に類をみない速さで少子高齢社会をむかえた。

このような現状の中で、本単元は「人口」という大きな観点から、次の二つのことを主なねらいとしている。まず、世界的視野から日本を一つの地域として追究することにより、日本が持つ特色と課題にせまることである。また、日本全体の視野から国内の地域差を追究することによって、我が国の国土の特色をとらえさせるとともに、地域間を比較し関連付けて地域的特色と一般の共通性を明らかにする視点や方法を身に付けさせることである。

諸資料を用い、鹿本町を具体的な事例地域として学習することによって、現在の日本がかかえる問題にせまるとともに、自らの課題としても位置づけていくことをねらいとしている。さらに、鹿本町の人口減少が他の山鹿市の旧町（菊鹿・鹿央・鹿北）と比べ緩やかであるという意外性のある教材を活用することで、一般的な見方に疑問を投げかけることから、本大会のサブテーマである「教材開発と発問の工夫」に適した題材であると考えられる。

(2) 系統観



小学校では、5年時に日本のことについて学習している。また、中学校3年の公民的分野では「現代社会の歩み」及び「国際問題と地球市民」の単元で、少子高齢社会や人口増加の抱える問題、南北問題について学習する。

(3) 生徒の実態

本学級は、男子13名、女子15名、計28名の明るく礼儀正しい学級である。男女の仲が良く、授業内容の理解に時間がかかる生徒に対しては、お互い丁寧にアドバイスなどを行うことができる。全体の傾向として、資料選択や分析が苦手であり、資料を比較検討したり考察する力の定着が不十分である。授業態度に関しては、良好で全体的に落ち着いた雰囲気がある。自己表現力という点ではやや消極的であるが、積極的に発表しようとする意欲は感じられる。

〈事前アンケート〉 調査人数27名

- ① あなたが、もし鹿本町の中で引っ越しをしたら、どの地区（地域）に引っ越しますか？
- ② ①の質問に関連して、なぜその地域に引っ越したいと思ったのですか？

引っ越したい地域	人数	なぜその地域に引っ越したいのか？
下高橋	11名	・買い物に便利 ・コンビニエンスストアやお店に近い ・坂道がない ・ミカエルに近い・国道があるので交通の便がよい・水辺プラザに近い
新屋敷・中町	5名	・店があつて便利 図書館や商店街があつて便利
上中町（来民商店街）	4名	・店がたくさんある ・病院に近い ・国道が通っていて便利
原部・阪東	4名	・商店街に近い ・ミカエルに近い
御宇田	2名	・自然がたくさんある ・山鹿に近く店がある ・ミスターマックスに近い
辺田目・笹本・裏方 今古閑・良福寺	1名	・中町に近い

- ③ 鹿本町やあなたが現在住んでいる地域の良い点を挙げて下さい。
 - ・自然が多い ・緑がいっぱいある ・田んぼが多く空気がきれい ・カエルの鳴き声が聞こえる
 - ・花いっぱいある ・坂道がない ・農業がさかん ・車の音がしない ・都会より涼しい
 - ・高いビルがないから眺めがよい ・ゴミが少ない ・事件がない
 - ・都会では体験できないことを体験できる ・歴史がいっぱいある ・たくさんの行事がある
 - ・地区の活動がさかん ・マラソン大会や招魂祭などのイベント ・1日と15日の町の挨拶運動
 - ・人が温かい（子どもたちへの声かけや挨拶など） ・近所の人と気楽に話せる
 - ・近所つきあいがたくさんある ・町の人みんながやさしい

(4) 指導観

事例地域として身近な「鹿本町」を取り上げ、課題意識を持たせるとともに、追究意欲を起こさせる教材を準備し意欲を高めていきたい。また、作業的な学習や資料の読み取りを取り入れることによって、多面的・多角的に考えることができるようにしたい。また、発問に関しては、生徒の思考をゆさぶり、意欲を高められるように工夫し、様々な意見を引き出したい。本大会のテーマに迫るため、以下の点について配慮する。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">①生徒にとって身近な教材の開発を行うことで、意欲的な追究活動へと導いていく。②発問の工夫により、生徒のモチベーションを高め、さらに思考を揺さぶる資料を提示していく③未来を問う発問により、提案や貢献行動へと結びつく活動を行っていく。 |
|---|

3 単元の目標

- (1) 世界的視野から見た日本の地域的特色を人口の観点からとらえるために、世界や日本の人口に関わる諸課題を意欲的に追究することができる。【社会的事象への関心・意欲・態度】
- (2) 世界的視野から見た日本の地域的特色を人口の観点からとらえるために、世界や日本の人口に関わる諸課題を多面的・多角的に考察し、自分の考えとして述べるができる。【社会的な思考・判断】
- (3) 世界的視野から見た地域的特色をとらえるために、地図の読み取り、統計のグラフ化や地図化などを通して、有用な情報を適切に選択して活用できる。【資料活用の技能・表現】
- (4) 世界と日本の人口に関する地域的特色を明らかにする視点や方法を理解し、人口の地域的特色に関する知識を身につけることができる。【社会的事象についての知識・理解】

4 単元の指導計画（5時間取り扱い）

次	題 材	主な学習内容	配 当
1	世界の人口分布とその推移	世界の人口分布と人口爆発 人口増加の問題点	1 時間
2	世界と日本の人口構成	世界の国々及び日本の人口構成の特色 高齢社会と少子化	1 時間
3	かたよる日本の人口分布	日本の過密地域・過疎地域 過疎・過密が人々の生活に与える影響	1 時間
4	鹿本町の人口分布の特色と 鹿本町の再発見	鹿本町の人口推移の特色	2 時間 (2 / 2) 本時
		鹿本町の人口分布の特色 自分たちが暮らす地域の良さ	

5 単元の評価計画

次	題材の目標	徹底動	関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
1	●世界の人口分布図や人口増加グラフを見て、人口が集中する地域や人口急増の状況を説明し、問題点を述べるができる。 【人口爆発】	徹底	○世界の人口分布の特色について、資料を活用し積極的に調べようとしている。 【観察法】		○人口集中の要因に、自然・産業・交通などの共通点があることを資料の比較から気づくことができる。 【ワークシート】	
2	●日本は人口が多く、人口密度が高い国であるが、高齢社会で少子化が進んでいることに気づき、それがどのような問題をもたらすかを指摘することができる。 【高齢社会・人口ピラミッド】	能動		○少子高齢社会が進む中で、将来の日本の姿を、複数の視点で予想することができる。 【ワークシート】	○日本の人口ピラミッドを作成し、他国との比較や我が国の人口ピラミッドの変遷を比較することで、日本の人口の特色を説明することができる。【作品法】	
3	●国内の人口分布の特色に気づき、どのようなどころに人口が集中	徹底 能動		○人口のかたよりや人口増加がどのような問題を引き		○過疎と過密による課題について認識し、どの

	<p>しているかを読み取り、その理由など共通性を指摘することができる。</p> <p>【過密・過疎・村おこし】</p>			<p>起こすのかを予想し、複数の課題を関連づけて指摘することができる。</p> <p>【テスト法】</p>		<p>ような取り組みがなされているのかを理解している。</p> <p>【ワークシート】</p>
4	<p>●わが町の人口の状況について、その要因と抱える課題について考え、その問題の解決策について具体的な提案を行うことができる。</p>	<p>能動</p>	<p>○身近な地域の人口の変化をもとに、地域がかかえる課題を見つけ、課題解決について考えようとしている。</p> <p>【作品法】【観察法】</p>		<p>○鹿本町の人口分布の特色について資料をもとに調べ、日本の人口分布の特色と共通点があることを読み取ることができる。【観察法】</p>	